

へみ地運協ニュース

研修会、市長との車座意見交換会を開催

地域課題について理解を深め、今後の事業展開のきっかけとするため、研修会と、市長との車座意見交換会を開催しました。

●研修会（10月25日）～テーマは「高齢者」「子ども」

第1部の講演では、田浦・逸見地域包括支援センター施設長の
大澤愛子さんが、地域での高齢者福祉の役割について「高齢者が
住み慣れたまちでいきいきと暮らしていくためには、日頃のささ
やかな声掛けやふれあいなども含めて、居場所づくりが大切」と
お話しされました。全員で「脳トレ」の体操も体験できました。



研修会第1部（講演）の様子↑

第2部は、地運協青少年部会による「学童保育」についての
検討経過の報告。昨年度に沢山小、逸見小の協力で実施したアンケートでは「小学生のいる家庭の約
67%が、学童保育があれば利用したい」との結果が出たことも披露されました。青少年部会では、
引き続き子どものための地域の「居場所」について検討していきます。

●市長との車座意見交換会（11月15日）～6つの質問を投げかけ

「学童保育」「買い物難民」「空き家・空き地」「地運協への財政的支援」
など、今年の春から夏にかけて各部会や理事会で協議してきた6つの質問
を市に投げかけました。市長や関係部局長からの回答に続いて、さらに各理
事が市長らと質疑応答を行いました。合計約60人の傍聴者においていた
きました。



来春のさくら祭～地運協は3つの共催事業を行います

逸見観光協会主催の「第70回三浦按針祭協賛塚山公園さくら祭」は、3月下旬～
4月上旬にかけて、パレード、祭囃子競演など盛りだくさんの内容で開催されます。



逸見地運協では共催事業として、①自然観察会、②按針はるキャベツスープの無料
配付、③式典時の献花・花束用のチューリップ栽培を行います。

そのうち、チューリップの栽培は11月初旬からスタート。逸見保育園と逸見が

丘町内会園芸クラブの皆さんにご協力いただき、球根
の植え付けを行ったところです。来春に向けて、よろ
しくお願いしたいと思います。

このほかの事業の詳しい内容は、現在「さくら祭共
催事業実行委員会」で検討していますので、今後の地
運協ニュースで順次お知らせしていきます。



逸見が丘町内会園芸クラブの球根植え付け作業の様子→